

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(35110)		
時間割担当	渡邊規矩郎		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、「日本学研究」をテーマとする。日本神話に込められた国家建設の理想、先哲靖献の足跡などを尋ね、日本の歴史伝統と先哲の学問を具体的に考究する。その中で、偉大なる人格においては、歴史の回顧と革新の力は相融合・合致していることを学問的に研究することにより、日本の過去・現在・未来を民族の生命の流れとして考えていく。幸い奈良は、日本建国、大化の改新、吉野朝という大革新の舞台であるので、橿原、斑鳩、桜井・多武峰、吉野山などのフィールドワークも行う。

学習の到達目標

人と生まれ、人が禽獣と異なる所以を知り、人間の尊厳を理解することができるようになる。
先哲や自然に学び、日本人としての生き方・在り方を自分の問題として捉えることができる。
日本人としての自覚をもって、国際社会に貢献する道を考え、報告・発表できるようになる。
教育は感動であり、魂と魂のぶつかり合いであることを、先人の学問を通じて理解する。
学んだことを、実践していく方策を具体的に考えることができるようにする。
伝統的マナーや作法を身につける。

授業方法・形式

- ・前期は、日本学入門と位置付けて、先哲遺文祖述と輪読を行う。
- ・講義の中で、現代と未来を展望する時事問題を扱い、過去・現在・未来を繋ぐ。
- ・土日などの休みを利用して、フィールドワークに取り組む。
- ・ゼミ合宿も視野に入れる。
- ・後期は、個々人が決めたテーマに沿って個人研究を行う。
- ・個人研究の一方で、適宜、必要に応じて講義や輪読を組み込む。
- ・研究の方法、論文の書き方の基礎的な指導を行う。
- ・日本の伝統的な作法を適時適切に指導する。

授業計画

- 第 1 回 授業のスタートに当たり、授業の概要、受講者の心得、評価方法など説明
- 第 2 回 日本の学問の継承の解説と先哲遺文の祖述
- 第 3 回 先哲遺文祖述と輪読
- 第 4 回 先哲遺文祖述と輪読
- 第 5 回 先哲遺文祖述と輪読
- 第 6 回 フィールドワークの事前学習
- 第 7 回 フィールドワークの事後学習
- 第 8 回 日本国家成立についての講義
- 第 9 回 神話と史実についての講義
- 第10回 先哲遺文祖述と輪読
- 第11回 フィールドワークの事前学習
- 第12回 フィールドワークの事後学習
- 第13回 天皇と皇室についての講義
- 第14回 先哲遺文祖述と輪読
- 第15回 前期のまとめと後期に向けて説明、夏季休業中のフィールドワークの事前学習
- 第16回 先哲遺文祖述、夏季休業中に学生が個々に考えた研究内容の発表と説明・指導
- 第17回 個別研究スタートにあての助言・指導
- 第18回 文章表現・レポート論文の書き方の指導
- 第19回 個別研究とその指導、共通ミニ講義
- 第20回 先哲遺文祖述と輪読、時事解説
- 第21回 個別研究とその指導、共通ミニ講義
- 第22回 フィールドワークの事後学習
- 第23回 個別研究とその指導、共通ミニ講義
- 第24回 先哲遺文祖述と輪読、時事解説
- 第25回 個別研究とその指導、共通ミニ講義
- 第26回 フィールドワークの事後学習
- 第27回 個別研究とその指導、共通ミニ講義
- 第28回 個別研究のまとめと指導
- 第29回 個々の研究発表と質疑、講評
- 第30回 まとめとして、学習を振り返る

成績評価の基準

毎回の授業における関心・意欲・態度、理解・表現などをチェック（30%）、また、課題レポートを中心に個別的・発展的学習の状況や考え方の深まりなどを評価（30%）、さらに、学期末テストにおいて総合的な理解を確認する（40%）。

授業時間外の課題

- ・教科書・参考書を熟読する。
- ・輪読に備え、語句の意味や解釈を予習する。
- ・フィールドワークに備えた調べ学習を行う。
- ・温故知新、時事教養を身に付けるため新聞を読む。

メッセージ

吉田松陰の言葉に「道はすなわち高し、美し、約なり、近なり。人いたずらに、その高きかつ美しきを見てもって及ぶべからずとなし、しかも、その約にしてかつ近、はなはだ親しむべきことを知らざるなり」というのがあります。深刻なしかめ面をして道を論ずるのでなく、常に謙虚に、ゆったりと、愉快地、日本の道というもの、日本学とは何かについて、師弟同行、共に学んでいきましょう。

教材・教科書

教科書：平泉澄著『先哲を仰ぐ』錦正社 3,240円
自作プリント教材

参考書

平泉澄著『物語日本史』（上・中・下）講談社学術文庫 2,764円
司馬遼太郎著『この国のかたち』文藝春秋社 1,296円
中西進著『日本人の祈り ころの風景』富山房インターナショナル 1,728円